

令和6年度 第2回知立市環境審議会議事録 概要

1 日時 令和6年7月19日（金）午後2時から午後3時30分

2 場所 知立市役所 4階 第6会議室

3 出席者及び欠席者

出席者 会長、副会長、委員6名

欠席者 委員2名

事務局 市民部長、環境課長、環境課ごみ減量係長、環境課主査2名

4 議事

協議事項

1 プラスチック一括回収の実施について

2 一般廃棄物処理手数料の見直しについて

【検討事項に関する主な意見・質疑応答】

1 プラスチック一括回収の実施について

委員 本格実施前に試験収集をして課題の洗い出しや改善点がないかを検討してから本格的に実施する方向性を決めていく姿勢について、とても評価できる。

委員 プラスチックごみを資源化する取り組みはいいことだと思うが、同時に排出抑制を呼び掛けていく必要がある。

事務局 プラスチック一括回収に関する説明会を行う際に、ものを大切に使いごみの排出を減らすことの大切さについてもあわせて市民の方に伝えていく。

委員 プラスチック一括回収をし、製品プラスチックもリサイクルすることはごみ減量につながる良い取り組みだと思う。試験収集の実施場所について、不燃物処理場の1か所のみで行うとすると、ごみの分別に対して意識の高い人のみが参加することや、ごみ出しルールを守らない人が排出するごみの組成が試験収集結果に反映しないのではないかということが懸念される。

委員 ごみ出しルールが守られていないのはごみ出しルールを知らないことが原因となっていることが多い。誰でも分かるように簡単にごみ出しルールを伝えることが重要である。

委員 プラスチック一括回収の試験収集に関して、現在の周知方法では第3者を介してしか情報が入ってこないような障がい者の方、外国籍の方などには情報が伝わらない可能性がある。色々な方が試験収集に参加できるように周知方法を再検討すること。

事務局 様々な方が参加できるように試験収集に関しての周知方法を再度検討する。

2 一般廃棄物処理手数料の見直しについて

事務局 第1回審議会では、ごみ袋（一般廃棄物処理手数料）の値上げ価格について、原材料の高騰した費用分を反映した額として提案し、委員の皆さまから賛成をいただいた。第1回審議会にてまとまった意見をもとに一般廃棄物手数料の見直しについて

市役所内の庁議に諮ったところ、環境課が提案した剪定枝の回収や公共施設等における古紙古布の回収拠点の増などの市民負担軽減（ごみ減量やリサイクル率の上昇）の施策とともに収集運搬手数料を改定し、更なる推進に取り組むべきではないか。収集運搬手数料の改定という視点はもとより、何より市民の皆様に分別意識を高めていただき、ごみ減量と資源化推進のための施策から価格（手数料）を設定すべきではないか。という意見が出た。庁議で出た意見をふまえ環境課内で再度検討し、新たな一般廃棄物処理手数料の見直し案を作成したので委員の皆さまに再度審議していただきたい。

委員 環境課が新たに提示した一般廃棄物処理手数料の見直し案に賛成する。事務局が提示している金額よりさらに値上げしてもよいのではと思う。

委員 1人当たりの1日の排出目標について、gで示しているが、g表記だけでは市民に目標量が伝わりにくい。具体的なものを挙げて示したほうがよい。

事務局 分かりやすい示し方を検討する。

委員 新しいごみ袋の名称やデザインを市民から公募してはどうか。

事務局 検討する。

(午後3時30分終了)